優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業（スタートアップ支援拠点 ）

公開用

AMED

課題名：「日本の医療機器を世界に！」を実現する共創型グローカルハブ拠点

代表機関／代表者： 国立大学法人　神戸大学/ 村垣善浩

分担機関： （公財）神戸医療産業都市推進機構、神戸市立医療センター中央市民病院、兵庫県立こども病院

研究期間： 令和7年7月～令和8年3月

神戸大学を中核とする医療機器開発拠点に、日本型エコシステムを先導する「共創型グローカルハブ」を構築し、国内外で国際競争力のある革新的な医療機器の創出を目指す

支援内容・体制

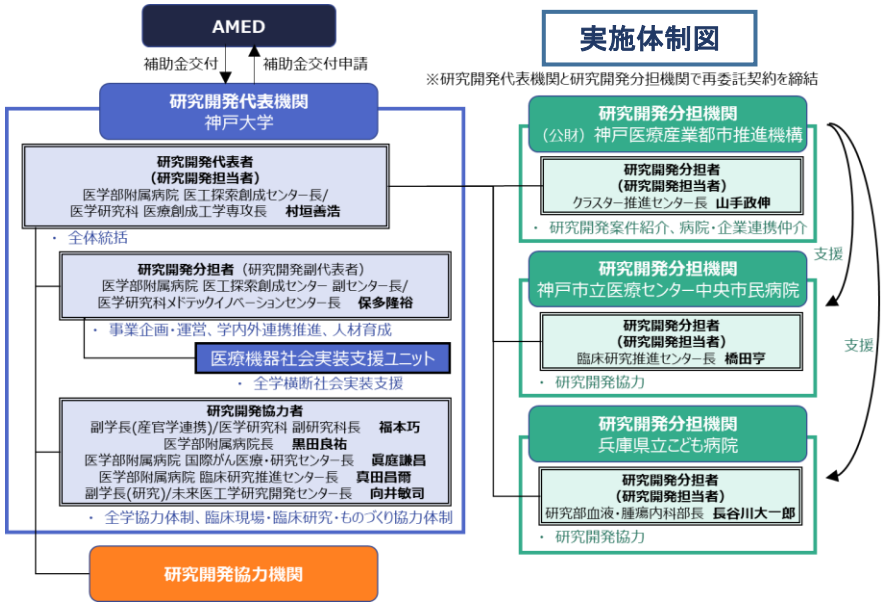
- **臨床現場視点を活かした開発計画の提案・ニーズ探索支援**（医学部附属病院、国際がん医療・研究センター、分担機関との連携）
- **医療機器社会実装支援ユニット**の**多分野専門家**（知財・薬事・保険償還・事業化・マーケティング等）による**共創型伴走支援**
- **臨床ニーズ検証環境の提供**（メドテックイノベーションセンター）
- 開発段階に応じた**スタートアップ支援**（ユニット・産業界専門家体制）
- **アンメットニーズプロジェクトの優先支援**（分担機関との連携）
- **海外展開支援**（国内VC/海外支援機関・大学等との連携）

成果・実績（予定）

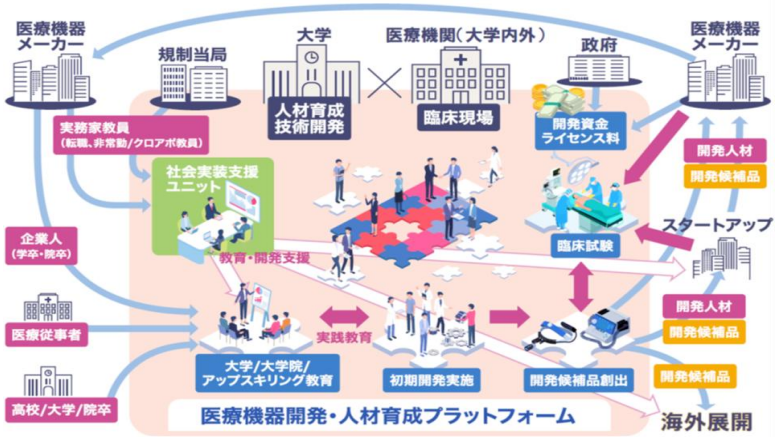
- 臨床現場からの医療ニーズ収集件数　≧190件
- 臨床現場観察（延べ人数）≧ 130人
- 開発支援面談件数　≧ 1000件
- スタートアップ支援基盤整備
- アンメットニーズ（重点診療領域、希少疾病他）支援基盤整備
- 海外展開支援基盤整備

実施体制図

※研究開発代表機関と研究開発分担機関で再委託契約を締結



社会実装ユニットが推進する産官学共創日本型エコシステム



2025年6月時点